

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箕面船場駅前地区まちづくり	階数	地上6F 地下1F
建設地	大阪府箕面市船場東3丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	2,400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,250 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年3月15日
敷地面積	8,100 m ²	作成者	西森史裕
建築面積	7,529 m ²	確認日	2019年3月26日
延床面積	27,805 m ²	確認者	西森史裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.9</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>箕面市に新設されるホール、図書館等の複合施設である。まちづくりの拠点となる役割を担っており、省エネ性能や緑化計画に配慮すると共に地域住民が集まりやすい計画、デザインにより地域に貢献する建物である。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>採用する建材や取り入れ外気に配慮し空気室環境向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>明確なコンセプトや求められる機能のもと内装計画に配慮し機能性向上に努めている。また内装材、配管・ダクトの仕様などは更新必要間隔が長くなるよう計画し耐用性の向上を図っている。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>緑化計画による配慮や、空間提供・施設提供による地域貢献、また地域に関連した外装デザインによる景観計画などで室外環境に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率設備の採用により省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具の採用により水資源の保護に配慮している。リサイクル材の採用により省資源に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO₂排出率の削減に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0007

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)箕面船場駅前地区まちづくり拠点施設整備運営事業						
		建設地	大阪府箕面市船場東3丁目						
		用途/区分	集会所						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A		
①	CO2削減					4			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					5			
④	エネルギー削減					4			
⑤	自然エネルギー直接利用					—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.2	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									